

みち、ひと…未来へ。



ぶらり東讃道®

2014年度
秋号(vol.7)

高松自動車道4車線化情報紙

4車線化の目的

交通渋滞の解消

交通事故の減少

通行止め日数の削減

災害に強い道路

東讃の風景

和三盆(東かがわ市)

盆の上で三度分蜜作業をするところからその名がついた和三盆。文化元年の創業以来、手作りで作られている三谷製糖の和三盆は、指先に乗るほど小さなお菓子の中に二百年来変わらない味が込められています。

三谷製糖 和三盆 羽根さぬき本舗
香川県東かがわ市馬場156-8
電話:0879-33-2224
FAX:0879-33-5578
HP: <http://www.wasanbon.com/>



《アクセス》◆お車で越しの場合/「引田IC」から約8分
◆高速バスで越しの場合/「高速引田バス停」から車で約8分
◆JRで越しの場合/「讃岐相生駅」から徒歩約10分

(写真左から)東かがわ市の中川啓也さん(三本松高1年)、三谷製糖の三谷あい子さん

ぶらり東讃道

高松自動車道4車線化情報紙

発行目的

高松自動車道4車線化工事の進捗状況や工事のための一般道路等の通行規制などを広くお知らせしていくことを目的としています。

設置場所

NEXCO西日本四国支社管内並びに与島、淡路、淡路島南のサービスエリア・パーキングエリア、京都・大阪・神戸・高松の主要高速バスターミナル、四国の道の駅

配布エリア

東かがわ市、さぬき市、三木町にお住まいの約4万2000世帯

発行時期 期間

四半期に1回、季節毎に発行



メッセージ

「高松自動車道4車線化への期待」 ～ 広域防災対処の観点から ～

陸上自衛隊第14旅団は、

四国4県の防衛警備・災害派遣等を担任する組織であり、地震や風水害をはじめとする各種事態から四国の安心と安全を守る行政機関の一員として、高松自動車道の4車線化に大きな期待を寄せています。

特に、近年四国においては、南海トラフ地震の危険性が取り沙汰されており、その対応が急がれています。

また、この様な大規模な災害に際しては、全国各地から多くの支援が寄せられることが予想され、これら四国に集まる膨大な人と物が継続的に被災地へ届けられることで、被害に遭われた方の生活が維持され、かつ復旧に向けた歩みが加速されるものと考えています。

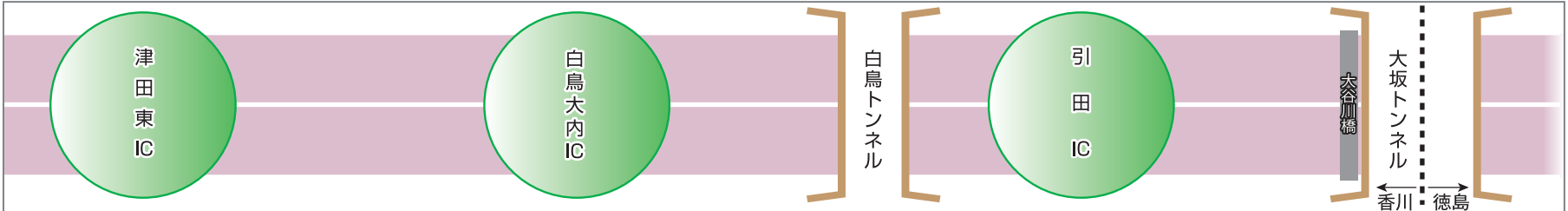
このような中、香川県は徳島・愛媛・高知の3県に通じる高速道路網の中核であり、かつ本州四国連絡橋、高松港及び高松空港等を介し、本州等と繋がる玄関口でもあります。南海トラフ地震をはじめとする各種災害に対処する際には、このような香川県を中心としたネットワークは生命

線になると考えており、その要である高松自動車道が4車線化され、災害に強く容量の大きな道路に生まれ変わること、香川県はもとより四国全体にとっても大変意義のあるものと思っています。

災害への備えを万全にし、豊かな自然と共存した四国の暮らしを守るためにも、一日も早い高松自動車道4車線化の完了を待ち望むとともに、工事に携わる方々の安全を祈念しています。



陸上自衛隊 第14旅団長
岸川 公彦



高松自動車道4車線化へ 〈進捗状況報告〉

工事着手率

19.1%
(土木工事発注率)

土木工事:
橋梁上部工、舗装
施設工事を除く
本体工事

大坂トンネル北工事

施工
会社
鹿島建設(株)

【工事箇所】香川県東かがわ市坂元～香川県東かがわ市坂元
【工期】2014年3月13日～2016年8月28日(900日間)
【工事数量】

延長1441^{メートル} 土工量1万9000立方^{メートル}
トンネル959^{メートル}

9月29日から行われた高松

自動車道夜間通行止め工事期間中に、のり面の切土工事で万一の落石に備え、高松自動車道の路肩に防護柵を設置しました。現在、高松自動車道のの上り線大坂トンネル手前の約100メートルの区間の路肩が狭くなっています。走行の際にはご注意ください。現在、この区間の土砂搬出、のり面補強工事が行わ



大坂トンネル付近 路肩防護柵

太谷川橋(下部工)工事

施工会社
(株)真部組

【工事箇所】香川県東かがわ市坂元～香川県東かがわ市坂元
【工期】2013年5月28日～2014年12月18日(570日間)

橋脚4基
橋台2基

現在、橋脚4基、橋台1基が完成し、最後の橋台工事も完成に近づいてきました。



橋台工事の様子

ご協力お願い
いたします

全ての工事において、工事用車両の通行に際しては、地域の方々の通行車両を最優先するなど安全運行を徹底し、細心の注意を払い施工をいたします。沿線の皆さまにはご不便をお掛けする事もありますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

インタビュー

この人に聞いてく?

第7回
主査
香川県三木町 政策課
道官 文晴さん

三木町の魅力は?

三木町の一番の魅力は、「暮らしやすさ」です。南北に長い三木町は、南に山間部、中央には町役場、北は高速道路と全体の構造が明確で、交通面ではことごとんやコミュニティバスが運行しており、暮らしやすい環境が整っています。また高松という中核都市に隣接し、利便性が高いこともあげられます。

さらに今、三木町で力を入れているのは希少糖によるまちづくりで、小菰小学校の閉校跡地に整備した三木町希少糖研究研修センターでは、地元の方々とともに希少糖の研究が進められ



道官文晴さん

ています。毎年、全国の高校生が希少糖を使った研究を競う「希少糖甲子園」も開かれ、産官学、そして地域の方々と一体となったまちづくりをすすめているところです。

全国的に人口が減少している中で、三木町では近年わずかながらに人口が増加しており、若い方にも年配の方にも、当町の生活のしやすさが評価されつつあるようです。

高松道4車線化が三木町に与える影響は?

町に高速道路が通っていることはとても重要で

高速道路があることで、買い物や旅行などの行動範囲が広がり、生活が豊かになります。さらに

台風などの災害や病院患者の転院搬送などが生じた場合、4車線化されることで

緊急輸送路が確保され、私たちの安心・安全がより強固なものになっていきます。こうした意味で、三木町の魅力である「暮らしやすさ」において、高速道路は大きな役割を担っています。高速道路を建設・管理するNEXCO西日本さんには、三木町の交通体系の利便性を向上させるための良きパートナーになっていただけたらと思っています。

三木町の最新情報

三木町は今、暮らしやすさをとことん追求するため「みきを故郷にえんちやうん!子育て大作戦」を旗印として「日本一子どもを生み育てやすい町」を目指し、様々な事業を行っています。生徒6ヶ月から小学校就学前までのお子様を24時間体制で一時的に預かる「まんでがんはたるホーム」の開設をはじめ、中学校卒業までのお子様を対象に医療費を無料化するなど、子育てしやすい環境づくりに取り組んでいます。小さい町だからこそ、地域の声の一つ一つを大切に扱い、実情に応じた支援策を提案し、地域の元気を盛り上げていくことが私たちの役割です。



〈聞き手〉NEXCO西日本
新田愛海